

なかつ市議会だより

令和7年
3月議会

「議員定数等を考える市民との意見交換会」を行いました!



議員定数等調査研究特別委員会は、市内の各種団体の皆さまから議員定数等に関する率直なご意見をお伺いするため、令和7年2月28日(金)に「議員定数等を考える市民との意見交換会」を行いました。

意見交換会では、議員定数に関するご意見のほか、議員のなり手不足や議員報酬、議会の情報発信などについて、多くの貴重なご意見を頂きました。



議長 はやし ひであき
林 秀明



副議長 すみ よしおみ
角 祥臣

新議長・副議長就任ご挨拶

このたび、令和7年第1回市議会定例会におきまして、議員各位の御推挙を得まして、中津市議会議長並びに副議長に就任致しました。

身に余る光栄に存じますとともに、責任の重大さを感じているところでございます。

二元代表制の一翼を担う市議会として、市民の皆様の負託に応えるべく、議決機関として地域の実情に根差したまちづくりを目指し、全身全霊で取り組んでまいります所存でございます。

これからも市民の皆様寄り添える、開かれた信頼される議会の構築に向けて「オール中津市議会」で取り組んでまいります。

今後とも皆様より一層のご指導とご鞭撻、そしてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「なかつ市議会だより」は、中津市ホームページにも掲載しています。

<https://www.city-nakatsu.jp>

なかつ市議会だより

検索



発行/大分県中津市議会

発行年月日/令和7(2025)年5月1日

3月議会 一般質問

- ◆令和7年3月議会において、議員から市政全般に対する一般質問が行われました。その中から主な質問を紹介しします。(質問順)
- ◆質問のタイトルの中で、色を変えた項目(緑色)についてのみ、質問と答弁の内容を掲載しています。
- ◆QRコードをスマートフォン等で読み込みいただくと、インターネット中継の議員ページにアクセスします。



木佐貴 佳子
(市民の会)



- これからの中津市の教育をどうしていくのか
- 新しい文化を地域の活性化につなげるには
- 孤立集落対策について

問「中津市学校のあり方検討委員会」をつくるに至った経緯、進捗状況、今後についての考えは。

答 近年児童生徒の減少が、特に旧郡部において顕著になっています。今後の学校のあり方の検討プロセスにおいて、保護者や地域の代表をはじめ、学識経験者や学校関係者に参画してもらい、広く意見を聞くため設置しました。これまで会議を2回、学校視察を1回実施しています。今後、数回の会議等を経た後に、検討委員会から報告される意見を参考に、教育委員会 で方向性を示す予定です。

問 災害時の孤立集落に対する応急対策を円滑に行うための事前対策は。

答 まずは「防災出前講座」などを通じて、「避難行動計画の作成」「物資の備蓄」「連絡手段の確保」等についての啓発を行っていきます。あわせて、「分散備蓄の推進」「支援、救助に携わる関係機関との訓練実施による連携確認」「通信手段の確保」などにも取り組んでいきます。



千木良 孝之
(市民の会)



- 道路計画について
 - ・ 中津港臨港道路1号線工事計画は
 - ・ その他幹線道路
- 防災について
 - ・ 災害時の避難所

問 中津港臨港道路1号線の工事状況と完成は。

答 県より、今年度全ての用地取得が完了し、事業評価時の予定である令和8年度完成を目指していると伺っています。

問 市道豊田町牛神線と市道野崎・堀田線との交差点は、一カ所右折車線がないが、整備計画は。

答 右折車線の整備は、隣接する土地所有者へ用地提供について、今後もお願ひしていきます。

問 市の指定一般避難所のうち、旧中津地域において、地震時に開設はするが、洪水等の災害時に開設しない避難所はどのくらいあるのか。

答 市全体で200施設ある指定一般避難所の内、63施設が旧中津地域にあり、全てが地震時には開設可能です。この内36施設が、洪水の際には浸水する可能性があり、利用できないと想定されます。同様に高潮の際には内24施設、津波の際には内2施設が利用できないと想定されます。



恒賀 慎太郎
(前 進)



- 大幡幼稚園及び放課後児童クラブの建設計画について
- 中津市の中学校における部活動の地域移行について
- 小規模農家の農業継続支援

問 大貞公園の御尽力により、現施設の隣地に建設用地が確保できたが、建て替えスケジュールは。

答 令和7年第2回定例市議会議決後、本体工事の本契約を締結し、電気、機械設備工事も同時期に工事着手します。令和8年4月末に本体工事完了後、順次外構整備、既存園舎解体等を実施し、令和8年度秋に完了予定です。なお歩道拡幅工事は、令和7年11月以降に着手し、年度内に完了予定です。

問 中学校の部活動の地域移行について、教育委員会として、どう対応を考えているのか。

答 国は、昨年12月に「地域移行」から地域全体で連携するというコンセプトをよりの確に表すために「地域展開」と名称変更し、令和8年度から13年度末までを「改革実行期間」とする中間取り纏めを発表しました。今春には費用負担の在り方などの最終取り纏めを発表しており、その動きを注視しつつも、市として出来る限り早く方針決定できるように取組みを進めているところです。



奥村 一義
(前 進)



- 子ども子育て支援の充実
- 消防体制の整備
- 中津港の利用促進

問 育児世帯を支える地域のサポートネットワークへの取組みは。

答 地域で活動する人たちや組織が情報共有する場として「地域福祉ネットワーク」があります。この活動を促進することで、孤立しがちな子育て家庭を支えていくことにつながると考えます。今後も地域の流れを尊重し、活動をサポートしていきたいと思ひます。

問 減少してきている消防団員を増やす施策は。

答 各種イベントで団員募集のチラシを配ったり、地元FMラジオで消防団活動の広報および団員募集の呼びかけを行っています。

問 中津港の早期の整備促進を図るためにどのような活動をしていますか。

答 東京で開催された「九州地区の経済と暮らしを支える港づくり意見交換会」に市長が出席して、中津港の整備促進について直接要望しました。また、国・県の関係部署の方に中津市までお越しいただき、意見交換会を行いました。



さがら あすか
相良 亜寿香
(ほんき)



- 中津南高耶馬溪校の全国募集
- ・ 学校コーディネーターの役割
- 空き家状況と活用方法は
- 避難訓練について
- ・ アプリを活用した避難訓練

問 中津南高耶馬溪校の全国募集の進捗状況は。
答 これまで大分県教育委員会と協議を進めており、現在早期に学生を入学受け入れできるよう協働で準備を進めているところです。
問 学校コーディネーターの役割と必要性は。
答 高校と地域との間に入って高校生を支援しながら、地域の活性化に取り組んで頂きます。
問 避難訓練を実施できない地域への呼びかけは。
答 実施している地域は、地震に伴う津波被害の恐れのある地域に偏っているのが現状です。旧下毛地域における防災活動が低迷しており、自主防災組織の統合についても働きかけを行い、人材確保と避難訓練や炊き出し訓練などに取り組んで頂きたいと考えます。
問 アプリを活用した「避難訓練」の実施の検討は。
答 事前準備も不要で、個人の防災意識の普及啓発につながると考えます。関心を高める一つの手段として、実施の方向で考えていきたいと思えます。



おずみ としこ
小住 利子
(公明党)



- 居住支援ネットワーク体制整備
- 入院する子どもの付き添いへの支援
- 体育館のエアコン設置
- 投票率向上に向けた取組み

問 入院する子どもに付き添う方への食事・睡眠環境・入浴に対するの支援体制の現状と今後の考えは。
答 令和7年2月からパン、カップラーメン、お菓子等を購入できる自動販売機を小児科病棟内に設置しました。その他にも給湯器、電子レンジを設置しています。睡眠環境では、小児科ですが、お子さんと添い寝が出来るよう成人用のベッドを使用し、入浴については、病棟内に専用のシャワールームを用意しています。今後も患者さんの意見を聞き、患者さんに寄り添った病院運営に努めていきます。
問 体育館のエアコン設置に対する考えは。
答 授業中の熱中症予防や避難所の環境改善の観点から、令和7年度に全小中学校の体育館に気化式冷風機を3台ずつ設置します。空調設備の整備については、校舎整備など他の課題も勘案しながら優先順位を付け、国の補助制度を最大限に活用し計画的に進めていきます。



おおうち なおき
大内 直樹
(清流会)



- 「小1の壁」に関する総合的な対応方針について
- 健全な放課後児童クラブの運営について
- ・ 運営委員会方式への対応

問 小学校の校舎に入れる時間に、保育園の開所の時間とのギャップが生じている。民間事業者に委託するなどし、体育館や多目的室を使用して児童を7時頃から預かり、見守るなどの対応が実施できませんか。
答 校舎の開錠を早めての登校時間前の預かりについて要望はなく、今のところその実施については考えていません。今後保護者からの要望が多く寄せられることがあれば、速やかに子育て支援課等関係課と検討を始めたいと考えています。
問 運営委員会方式の放課後児童クラブには、リスクを説明し、市の責任を果たす一方、支援員の処遇や配置を安定させるため、一括委託などの方法等も検討すべきだと考えますがどうでしょうか。
答 各運営委員会に対してリスクを提示したうえで、適正な運営が可能な運営委員会については、運営を継続して欲しいと考えています。今後適正な運営が困難なクラブがある場合は、公募等の手続きを経て、民間事業者への委託を行います。



きのした もとのぶ
木ノ下 素信
(清流会)



- 地域包括ケア計画
- 水防法による要配慮者施設の避難確保と訓練
- 介護保険法に基づく事業継続計画と義務化における訓練

問 24時間対応できる訪問診療・往診体制の充実に向けての取組みは。
答 医療関係職種と介護関係職種とのさらなる連携推進と、その連携の核となる人材の育成を図りつつ、将来的には24時間365日の在宅医療・介護サービス提供体制の構築を目指します。
問 *小規模多機能型居宅介護の普及に向けて情報提供の取組みは。
答 居宅介護支援事業所の介護支援専門員やサービス利用者が適切に判断することができるよう、情報提供を行い、理解を図っています。
問 事業継続計画(*BCP)と訓練について、施設の負担軽減のための市の役割は。
答 今年度は介護支援専門員を対象に、専門家派遣によるBCPを含めた災害時の対応等の研修を開催しており、来年度以降についても事業所の要望の聞き取りをした上で、研修等の開催を行いたいと考えています。

語句の説明

* 小規模多機能型居宅介護とは、利用者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組み合わせ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活上の支援や機能訓練を行うもの。
 * BCPとは、災害などの緊急事態における企業や団体の事業継続計画(Business Continuity Planning)のこと。



かわうち やちよ
川内 八千代
(日本共産党)



- 学校給食の充実
- ごみ袋の値下げ
- 市民病院の診療科の充実
- 公共交通充実・障がい者対応トイレの充実

問 学校給食費は全員無料にすべき。2人目から無料では1人っ子は無料にならず、新たな格差が生じる。

答 これまで市長会を通じ要望してきたこともあり、国が無償化に向けて議論しているところです。この動きをしっかり注視していきます。

問 旧下毛の調理場をなくして一カ所に統合する案は、多くの市民は知らない。今からでも立ち止まって、市民の意見を聞くことから始めるべき。

答 市報令和7年2月号と学校・保護者間連絡アプリ「すぐーる」を用いてお知らせをしています。出されたご意見については参考とさせていただきます。

問 ごみ減量計画の目標に対して推移は。目標到達後は、大分県一高いごみ袋は値下げをして。

答 令和5年度の実績からさらに約7%の減量が必要です。引き続き必要な施策を実施してまいります。

問 *ストーマ対応のトイレを増やして障がい者の支援を。

答 公共施設の新設・改修の際は、障がい者等の利便性、安全性の向上に配慮しています。



あらかき ひろこ
荒木 ひろこ
(日本共産党)



- 子ども達に安全・安心おいしい給食と給食費無償化の実施を
- 八潮市の陥没事故を教訓に市民の安全確保対策の充実を
- 市民と共に核兵器廃絶の訴え

問 新共同調理場では、廃プラスチック・ペットボトルを原料にした食器を考えているようですが、年間200回もの学校給食では、プラスチック製品は削減・除却すべきだと思います。市の考えは。

答 法律では、製品の設計から廃棄物の処理までの全てのプロセスでプラスチック資源を循環させるとしています。食器はリサイクル製品とするなど、食育の推進を図ること等を要求水準書で記していますが、強化磁器食器もリサイクル製品です。

問 中央町1丁目県土木西側の市道は度々破損し、アスファルト修理が続いています。住民は水路が原因の道路陥没を心配しています。調査し、安全な通行が出来る様、改善して下さい。

答 令和7年2月上旬に現地調査したところ、陥没する危険性が差し迫っている状況とは見られないことから、通行規制等を行わず、今後現地を詳細調査し、適切な対応を図ります。



ふるえ しんいち
古江 信一
(前 進)



- 地域医療・介護情報の連携は
- 老人クラブ活動拡充の支援を
- 教職員及び市職員の方々の防災士資格取得の推進を
- 避難所施設の環境整備を

問 コロナ禍以前より「地域医療・介護情報連携ネットワーク」づくりの準備に取り組んできましたが、現在の進捗状況はどうか。

答 今年度より中津市医師会と先進地事例などの協議を再開し、今後は協議会を立ち上げる予定です。

問 指定避難所の多くが学校であり、そこで働く教職員及び避難所運営に関わる市職員の方々の防災士資格取得が防災力強化に繋がると考えますが。

答 教職員については、教育現場での防災活動と災害時の安全確保に、市職員については、迅速な支援活動と地域防災活動参加による共助・公助の連携に繋がることから、取得を推進していきます。

問 指定緊急避難所における空調設備及びAEDが未設置の施設について、早急な整備の考えは。

答 市内の指定緊急避難所で唯一、空調設備のない県立工科大学学校体育館については、県への要望とともに市としてできることを考えていきます。また、AEDについては、整備の方法について検討します。



ほんだ てつや
本田 哲也
(清流会)



- 森林環境譲与税の活用で
- ・ 森林整備
- ・ 人材育成/確保
- ・ 木材利用促進 (教育施設等)
- 空き家対策

問 森林整備に必要な国土調査の迅速化を。

答 今年度より現地境界確認を請負業者による委託業務として開始しました。また、ドローンなどを利用した他市の事例も参考に推進します。

問 災害に強い森林づくりで山地崩落の防止を。

答 県事業を活用し、流木の恐れがある河川沿いや管理されていない尾根、急傾斜地にある人工林を広葉樹林または針広混交林に誘導しています。

問 担い手確保にインターンシップ制度の導入は。

答 学校からの講義依頼の受け入れ及び由布市の長期研修では、交通費の一部補助を行っています。

問 建替え予定の大幅幼稚園等の木造化の検討は。

答 大幅幼稚園及び三保小学校の建替えは、構造から木造にするなど可能な限り木質化を図ります。

問 東北の森林火災が深刻だが中津市の対策は。

答 消防署では緊急予防啓発などの対応をしています。

問 移住支援補助金の旧市内への拡大を。

答 本議会で市内全域への予算計上をしています。

語句の説明

* ストーマとは、手術によっておなかに新しく作られた、便や尿の排泄の出口のこと。



みえのたまえ
三重野 玉江
(清流会)



- 魅力を引き出す地域ブランディングと二地域居住の推進
- 県立中津南高耶馬溪校の未来を考える

問 地方への人の流れを創出・拡大するための法律の改正が昨年行われ、国が二地域居住の推進を強化しています。今後も柔軟な働き方の1つとして定着していくと考えますが、市の考えは。

答 移住で定住人口を増やし地域活性化を目指す一方、二地域居住で交流・関係人口の創出も図りたいと考えています。この両者を推進することで、都市部と地方でよい関係が築かれ、新たな経済活動や文化交流も生まれ中津市の持続的な発展につながると考えます。

問 定員割れが続いている県立中津南高耶馬溪校の令和7年度からの全国募集を進めるために必要な予算や資源の確保はどのように考えていますか。

答 現在、魅力となりうる資源の1つが全国有数の施設である耶馬溪アクアパークです。高校での3年間、課外活動等で水上スキーができる強みを生かし、水上スキー推薦での大学進学実績を生み出せるよう、技術指導や練習環境の確保に努めます。



やまかげともかず
山影 智一
(豊の風)



- カスタマーハラスメント防止条例の制定について
- 漁業・漁村地域振興について
- 農業・農村地域振興について
- 中心市街地の活性化について

問 市民生活、企業活動の安全・安心なまちづくり、まちづくりの最前線に立つ市の職員の安全、笑顔が溢れる魅力あるまちづくりの実現。長きにわたる中津市内の弊害（不当・不正な要求等）に立ち向かう、次の世代に問題を先送りしない、市全体の体制づくりが必要です。「中津市カスタマーハラスメント防止条例」を定め、市民運動へと発展させるべきです。市長の考えを伺います。

答 先行自治体の例をみますと、自治体、顧客等、就業者及び事業者の責務と取組みを定めるものです。今後、有識者をはじめ、市民、企業、関係機関と密に連携を取り、広く意見をいただく必要があると考えています。また、国の法改正が想定されていることや、市内事業者におけるカスタマーハラスメント対策の状況、他自治体の状況等を踏まえ、条例の制定について検討してまいります。



みずのまき
渕野 真己
(前 進)



- 市民プール
- 民生委員・児童委員
- 災害としての熱中症対策
- 公園について

問 市民プールにおいて、昨年の原因不明の漏水という状況を受けて、費用対効果も含めて本格的に議論すべき時期に来ているのではないかと思います。如何ですか。

答 今回の状況を受けて、多額の費用をかけて改修するのではなく、当面施設利用を休止して、利用状況や運営に要している費用のことも十分に考え、併せて他の施設や定住自立圏で協定を締結している市・町の施設利用等の観点も考慮しながら、今後の対応を検討したいと考えています。

問 今後の民生委員・児童委員の事務処理、活動費について処遇の改善という観点でお答え願います。

答 書類の電子データ化等による管理は個別に相談していただき、可能なものについては対応していきたいと考えます。活動費の処遇改善については、大分県市長会や九州市長会から国への要望事項等としても挙げられているところであり、中津市としても機会をとらえて要望していきます。



まつばたみお
松葉 民雄
(公明党)



- AIの活用について
- 浄化槽について
- ペット同伴避難について
- 農業対策について
- ・ 耕作放棄地の現状と対策

問 昨年6月に一般社団法人全国浄化槽団体連合会が提言した内容は把握できていますか。

答 全国浄化槽団体連合会の提言の骨子は、浄化槽事務のDX化による適正な維持管理の徹底、浄化槽設備士の技術向上及び人材確保と捉えています。

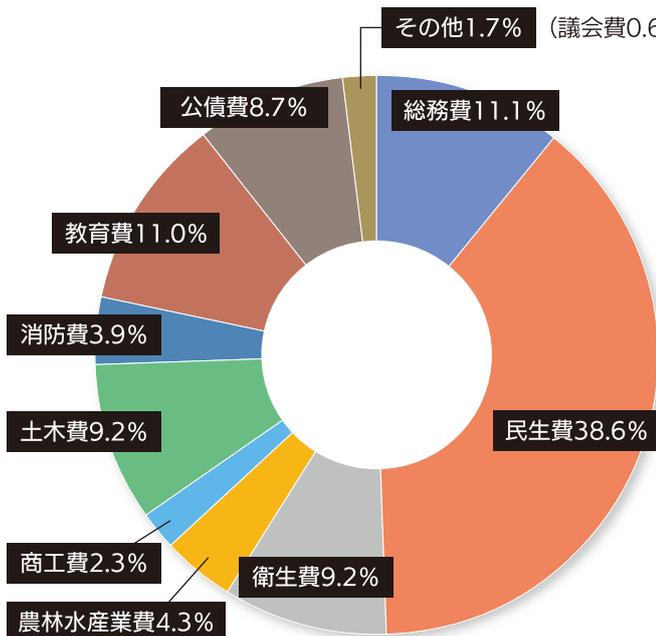
問 中津市として具体的に取り組めるものは。

答 中津市では、市長会へ県独自の上乗せ補助金の継続を強く要望するなど、合併処理浄化槽への転換促進に今後も引き続き努めていきたいと考えています。

問 ペット同伴避難の課題解決の取組みは。

答 避難する際の準備物、避難所内でのルール、後片付けなどについて、防災出前講座や各種イベント、ホームページなどあらゆる手段を使って浸透を図ります。また、ルールを守れていない避難者に対する指導や避難所内の巡回体制などについてマニュアルなどを作成し、マナー啓発とルール順守の意識を高めていきたいと考えます。

令和7年度 中津市一般会計予算



その他1.7% (議会費0.6%、労働費0.1%、災害復旧費0.6%、予備費0.4%)

474億5,225万1千円

前年比
15億1,608万2千円増額 (+3.3%)
事業の一部をご紹介します。



総務費

◆デジタル変革関連事業【8,531万円】

- * 全職員に生成AI(人工知能) やノーコードツールを扱える環境を整備するとともに、デジタルリテラシー及びスキルの向上を図ります。
- * アプリケーションの内製化や庁内外のステークホルダーとのコラボレーション促進に取り組むとともに、訪問相談等のアウトリーチ活動を充実させます。

※ノーコードツールとは、プログラミングの知識がなくてもアプリケーションやWebサイトを開発できる工具のことです。

※ステークホルダーとは、企業や行政機関、NPO等の利害と行動に直接・間接的な関係を有する者のことです。

民生費

◆鶴居児童クラブ整備事業【1億938万円】

- * 鶴居児童クラブは、施設の老朽化に加えて、建物が狭く、令和6年度は利用定員を大幅に超過した数の児童が入所している状態です。待機児童の解消、安全・安心及び快適なこどもの居場所づくりのため、令和7年度中に建物を増改築し、定員を倍増します。

◆高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業【1,686万円】

- * 健康寿命延伸を推進するため、後期高齢者への生活習慣病等重症化予防対策として、医療専門職(保健師・栄養士・理学療法士など)が訪問保健指導を実施します。また、通いの場等へも医療専門職が積極的に関与し、フレイル状態にある高齢者の早期発見・早期支援に繋がります。
- * 令和7年度は、地域担当医療専門職を増員し、訪問等のアウトリーチ支援を強化します。

※フレイルとは、加齢とともに、体や心のはたらき、社会的な繋がりが弱くなった状態のことです。

衛生費

◆脱炭素社会推進事業【9,369万円】

- * 国の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」や脱炭素社会推進基金を活用して、市民や事業者の太陽光発電設備や蓄電池、EV(電気自動車)の導入、ZEH住宅に対する補助金を交付します。また、事業者の脱炭素化を促進するために、省エネセミナーの開催や、省エネ診断にかかる費用の助成を行います。

農林水産業費

◆地域農業経営サポート機構育成事業【1,355万円】

- *「梨学校」で果樹の担い手育成に取り組む体制の再編を行い、梨、ぶどう、キウイ等の指導ができる研修機関を目指します。一方で、経営継承可能な園地の確保、維持に努め、生徒が研修終了と同時に就農開始できるように支援を行い、産地を次世代へ継承するための支援に取り組んでいきます。
- *梨学校運営に係る人件費及び園地の確保、維持に係る経費について地域農業経営サポート機構育成事業（担い手確保支援事業費補助金）を拡充し、地域農業サポート機構で取り組みを行っていきます。

商工費

◆中津からあげPR支援事業【300万円】

- *中津商工会議所が「中津からあげ」を地域団体商標として登録を行ってから、令和8年1月に10周年を迎えます。この節目を活かし、中津耶馬溪観光協会などの地域団体や民間事業者、地域住民など「オールなかつ」によって中津からあげをPRする取組みを支援します。
- *今後も中津市が「からあげの聖地」であるということ定着させ、全国に発信し続けていくことで、観光誘客及び地域経済の活性化に繋がります。

土木費

◆橋りょう長寿命化修繕事業【1億4,340万円】

- *橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、損傷の大きな橋りょうに対して補修を行うことで、延命化を図ります。令和7年度は、5橋の補修設計と10橋の補修工事を実施します。
- *年度ごとの橋りょうの修繕費用の平準化が図られるとともに、通行者の安全確保が期待されます。

消防費

◆防災情報の多言語化配信事業【293万円】

- *メールとLINEで防災情報等を配信している「なかつメール」を英語、中国語（簡体字）、韓国語、インドネシア語、ベトナム語、タガログ語、ミャンマー語の7か国語で配信できる体制を整備します。
- *外国人居住者が、防災情報等を収集しやすくなり、防災意識の向上に繋がることを目指します。

教育費

◆防犯カメラ設置事業【2,200万円】

- *全国的に学校等への不審者侵入事件が発生している状況を受け、小中学校の防犯対策を強化するため、小中学校10校（小学校6校、中学校4校）に防犯カメラを設置します。設置にあたっては、学校及び保護者と十分な協議を行い、準備が整った学校から順次整備を行います。
- *防犯カメラを設置することで、犯罪企図者の侵入防止や犯意の抑制、事件事故やトラブル等の状況把握、原因究明、早期解決及び再発防止、児童生徒の安心感の醸成を図ります。

◆(仮称) 中津市新学校給食共同調理場整備運営事業【1,740万円】

- *給食施設・設備の老朽化への対応、食物アレルギーへの対応、献立内容の充実及び大規模災害への対応等を実施するため、既存の4箇所の学校給食共同調理場を集約し、(仮称)中津市新学校給食共同調理場を整備することとしました。事業方式としては、PFI法に基づき、施設の設計、建設、維持管理及び運営事業（15年）を長期に、かつ一体的に民間事業者へ委ねることで、施設の維持管理と運営コストの削減を図ります。
- *令和7年度は、本事業を行う民間事業者の選定及び契約に関する発注支援業務と新共同調理場の設計に関するモニタリング業務について業務委託します。令和10年度2学期からの新共同調理場の供用開始に向け事業を進めます。

3月議会で決まった内容

令和7年3月議会は、2月25日から3月25日までの29日間にわたり開催されました。審議の結果、予算関係議案17件、条例関係議案22件、その他の議案1件、合計40件を可決し、人事案件4件を同意しました。また、請願1件を採択し、決議案1件を決議しました。以下にその一部をお知らせします。(詳細はホームページをご覧ください。)

補正予算

- ◆令和6年度中津市一般会計補正予算(第7号)
- ◆令和6年度中津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
- ◆令和6年度中津市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- ◆令和6年度中津市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)
- ◆令和6年度中津市ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算(第1号)
- ◆令和6年度中津市病院事業会計補正予算(第2号)
- ◆令和6年度中津市水道事業会計補正予算(第1号)
- ◆令和6年度中津市下水道事業会計補正予算(第1号)

当初予算

- ◆令和7年度中津市一般会計予算
*主要事業については、6ページから7ページに掲載しています。
- ◆令和7年度中津市国民健康保険事業特別会計予算
- ◆令和7年度中津市介護保険事業特別会計予算
- ◆令和7年度中津市後期高齢者医療特別会計予算
- ◆令和7年度中津市ケーブルネットワーク事業特別会計予算
- ◆令和7年度中津市病院事業会計予算
- ◆令和7年度中津市診療所事業会計予算
- ◆令和7年度中津市水道事業会計予算
- ◆令和7年度中津市下水道事業会計予算

人事

- ◆中津市副市長の選任について
まえだ よしたけ
前田 良猛 氏(67歳)(大字田尻)
- ◆中津市固定資産評価審査委員会委員の選任について
やまだ やすひろ
山田 康裕 氏(69歳)(大字上池永)
いまいし ひろこ
今石 啓子 氏(74歳)(中殿町)
- ◆中津市監査委員の選任について
きのした もとのぶ
木ノ下 素信 氏(62歳)(大字植野)
※()内の年齢は議案提出時の年齢

その他

- ◆財産の取得について
*排水ポンプの取得について議決を求めるもの

報告

- ◆専決処分報告について(和解及び損害賠償の額の決定)*2件
*公用車による公務中の交通事故に係る和解及び損害賠償額の決定
*道路(市道)管理者としての和解及び損害賠償額の決定
- ◆令和7年度中津市土地開発公社事業計画及び予算の報告について

条例

- ◆刑法等の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- ◆公共施設の使用料の統一的な見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- ◆中津市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定について
- ◆中津市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- ◆中津市執行機関の附属機関の設置等に関する条例の一部改正について
- ◆中津市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正について
- ◆中津市職員の給与に関する条例等の一部改正について
- ◆中津市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について
- ◆中津市企業立地促進条例の一部改正について
- ◆中津市都市公園条例の一部改正について
- ◆中津市手数料条例の一部改正について
- ◆中津市水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について
- ◆中津市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について
- ◆中津市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ◆中津市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び中津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ◆中津市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について
- ◆中津市国民健康保険税条例の一部改正について
- ◆介護保険法に基づき地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準に関する条例の一部改正について
- ◆中津市立中津市民病院及び小児救急センター使用料及び手数料条例の一部改正について
- ◆中津市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について
- ◆中津市議会議員の政治倫理に関する条例の一部改正について
- ◆中津市議会の保有する個人情報の保護に関する条例の一部改正について

請願

- ◆中小企業等の人材確保の為の総合的な情報交換・意見発信の出来る会議体の設置に係る請願
以上1件の請願を採択しました。

決議

- ◆カスタマーハラスメント根絶により誰もが安心して働ける環境と事業活動ができるまちづくりを目指す決議
以上1件を決議しました。

自由討議

- ◆地域福祉の充実、安心して暮らせるまちづくり
 - ①「おひとりさま」等について
 - ②隠れた高齢者ケアについて
 - ③地域福祉ネットワーク等の整備
 - ④ボランティア、なり手不足について
 - ⑤高齢者等終身サポート事業等について
 (補足説明者：山影智一議員)



- ◆地域コミュニティの活性化に向けて
 - ①地域力の低下の現状は
 - ②地域を支える（自治委員、民生委員など）人材の確保をどうすればいいか
 - ③活性化に向けた市としての支援策は
 (補足説明者：木佐貫佳子議員)



- ◆市内に広がる鳥獣被害の対策について
 - ①旧下毛の現対策では不十分
 - ②旧市内のイノシシ・シカ・サル出没への対策
 (補足説明者：相良亜寿香議員)



以上3件について自由討議を行いました。

◆賛否の分かれた議案

- [議第9号] 令和7年度中津市一般会計予算
- [議第11号] 令和7年度中津市介護保険事業特別会計予算
- [議第12号] 令和7年度中津市後期高齢者医療特別会計予算

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×、棄権－、欠席は欠で表しています。)

議案番号	議決結果	前進					清流会					日本共産党			ほんき		市民の会			公明党		豊の風
		林角恒	古奥	渚野	木下	相良	本田	三重野	大内	荒木	川内	三上	中西	藤野	相良	大塚	木佐	千木	松葉	小住	山影	
議第9号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第11号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第12号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※上記以外の議案(請願・意見書・決議等の議員提出議案を除く)については、全会一致で**原案可決**となりました。なお、議長は採決に加わらないため斜線としています。

ようこそ中津市へ! (視察研修)



福岡県中部十一市議会議長会 (議員間の自由討議について)

中津市議会では、他議会からの視察研修の受け入れを積極的に行っています。令和6年度は、「議員間の自由討議について」や、「からあげ観光について」などをテーマに19議会、延べ148人の視察研修の受け入れを行いました。



千葉県茂原市議会
(からあげ観光について)



山形県鶴岡市議会
(こどもいきいきプレイルームについて)

令和7年6月議会の開催日程(予定)

6月	2日(月)	本会議「開会・会期・議案上程」	
	9日(月)	本会議「一般質問」(4日間)	
	10日(火)		
	11日(水)		
	12日(木)		
	17日(火)	本会議「議案質疑」	
	18日(水)		産業建設消防委員会
	19日(木)	常任委員会	教育厚生委員会
	20日(金)		総務企画環境委員会
	24日(火)	本会議「自由討議」	
	26日(木)	本会議「委員長報告・質疑・討論・採決・閉会」	

★インターネット議会放映(録画)は、いつでも視聴できます。

本会議の映像をパソコンやスマートフォンよりインターネット上でご覧いただけます。
 ライブ配信(生中継)と録画配信で、録画配信には、見たい映像を日付や議員名等から検索できる機能をつけています。

インターネット放映は

[中津市議会HP](#)
 ↓
[中津市議会中継](#) よりご覧ください。



生中継中は **LIVE** アイコンが点滅します



[QRコード]

各議員の一般質問、代表質問、議案質疑の内容につきましては、市議会日程の該当日の約2日前に市議会ホームページでお知らせいたします。

中津市PTA連合会との意見交換会を開催



令和7年2月19日(水)教育厚生委員会は、中津市PTA連合会と意見交換会を行いました。

意見交換会では、中学校部活動の地域移行に関する取り組みや、各学校における照明のLED化、教員の不足による児童・生徒への影響などについて、活発な意見交換が行われました。

管内事務調査

総務企画環境委員会

令和7年3月6日(木)管内事務調査として、中津市役所本庁舎機械棟及び中津市クリーンプラザの現地調査を行いました。
 機械棟の概要や設備の配置状況、クリーンプラザの現況や延命化工事の内容等について調査を行いました。



産業建設消防委員会

令和7年3月12日(水)管内事務調査として、山国町の株式会社グリーンコープミルクの現地調査を行いました。
 3月8日(土)に完成した牛乳瓶詰め工場の稼働状況等について調査を行いました。

議会新人事 決まる。(令和7年第1回定例会)

総務企画環境委員会 8人

総務部、企画市民環境部、会計課、議会事務局、選挙管理委員会及び監査委員の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項

- 委員長 本田 哲也 (清流会)
- 副委員長 中西 伸之 (ほんき)
- 委員 荒木ひろ子 (日本共産党)
- 角 祥臣 (前進)
- 恒賀愼太郎 (前進)
- 相良 卓紀 (清流会)
- 小住 利子 (公明党)
- 大塚 正俊 (市民の会)

産業建設消防委員会 8人

産業経済部、建設部、上下水道部、消防本部及び農業委員会の所管に属する事項

- 委員長 奥村 一義 (前進)
- 副委員長 大内 直樹 (清流会)
- 委員 三上 英範 (日本共産党)
- 藤野 英司 (ほんき)
- 松葉 民雄 (公明党)
- 林 秀明 (前進)
- 木ノ下素信 (清流会)
- 木佐貫佳子 (市民の会)

教育厚生委員会 7人

健康福祉部、教育委員会、市民病院及び小児救急センターの所管に属する事項

- 委員長 三重野玉江 (清流会)
- 副委員長 相良亜寿香 (ほんき)
- 委員 川内八千代 (日本共産党)
- 古江 信一 (前進)
- 千木良孝之 (市民の会)
- 山影 智一 (豊の風)
- 淵野 真己 (前進)

広報広聴委員会 9人

多様な広報手段を活用した情報発信、多くの市民の意見や提案を把握するための広聴活動

- 委員長 木佐貫佳子 (市民の会)
- 副委員長 淵野 真己 (前進)
- 委員 荒木ひろ子 (日本共産党)
- 恒賀愼太郎 (前進)
- 小住 利子 (公明党)
- 本田 哲也 (清流会)
- 奥村 一義 (前進)
- 大塚 正俊 (市民の会)
- 相良亜寿香 (ほんき)

議会運営委員会 9人

議会運営に関する事項

- 委員長 大内 直樹 (清流会)
- 副委員長 藤野 英司 (ほんき)
- 委員 川内八千代 (日本共産党)
- 恒賀愼太郎 (前進)
- 松葉 民雄 (公明党)
- 奥村 一義 (前進)
- 大塚 正俊 (市民の会)
- 三重野玉江 (清流会)
- 山影 智一 (豊の風)

大分県後期高齢者医療広域連合議会議員

三重野 玉江 相良 亜寿香

中津市土地開発公社 (監事)

本田 哲也

中津市都市計画審議会委員

荒木 ひろ子 角 祥臣 藤野 英司 本田 哲也 千木良 孝之